

Clinical Cloud by MEDIPAL には各領域を牽引するオピニオンリーダーによる良質な医療情報を掲載しています。

Clinical Cloud

かわらばん

最新動画
情報

登録無料



第1号

平成31年4月17日

発行元 株式会社Doctorbook
東京都千代田区内神田一丁目14番10号

vol. 001

特集

フットケア

POINT 3

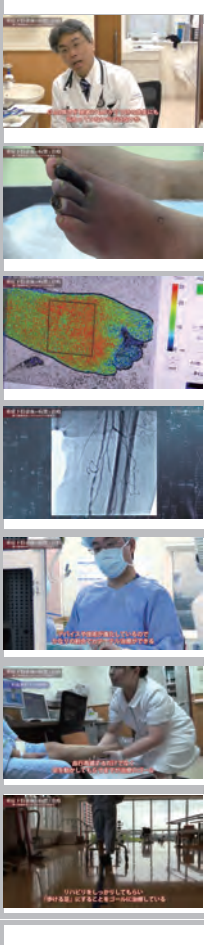
今後の展望

POINT 2

PADや重症虚血肢 (CLI)の現状・治療法

POINT 1

下肢末梢動脈疾患 (PAD)とは



治療のゴールは「歩ける足」にすること

「重症下肢虚血の病態と治療」
「下肢動脈病変に対するEVTの重要性」

下肢末梢動脈疾患(PAD)は本来四肢の動脈疾患のことを意味しますが、動脈硬化は全身の動脈で起こります。したがって冠動脈疾患、脳血管疾患等重篤な脈管の疾患とも深い関係にあります。PADやそれが進行した重症虚血肢(CLI)では有意に脳梗塞や心筋梗塞を起こす可能性が高くなっています。特にCLIは、客観的に証明された動脈閉塞性疾患に起因する慢性虚血性安静時疼痛、潰瘍、壊疽を有し、治療されなければ下肢切断にいたる病態であり、予後不良の疾患とされています。

「肢の動脈硬化の病期に対して心臓や脳に比べると深達度がうすく、CLIの怖さが患者にもかかりつけの先生にも伝わっていないのはいか」と福岡山王病院 循環器センター長 横井宏佳先生はおっしゃいます。

実際に、多くのCLI患者が診断されていない、適切な治療を受けずに下肢切断に至っているのが現状です。このような本邦における状況の原因としては、疾患の理解がされていない、欧米のように足病医がいなく、足病患者の窓口となる診療科が不明確であり予防的フットケアが行われていない、血流評価、治療体制が不十分などがあげられるとのこと。

臨床の現場の最前線でご活躍される横井先生にPAD、CLIとはどういった疾患なのか、治療法今後の展望について伺いました。

横井 宏佳 先生のご紹介

●専門分野: 虚血性疾患、閉塞性動脈硬化症、カテーテル治療、フットケア重症下肢虚血、睡眠時無呼吸症候群、頸動脈狭窄症、腎動脈狭窄症、川崎病
●金沢大学医学部 1986年卒業。2013年より現職。
JET(Japan Endovascular Treatment Conference) 理事、日本心血管インターベンション治療学会 理事、日本心臓リハビリテーション学会 理事、日本フットケア学会 理事、日本下肢救済・足病学会学術集会 理事、日本冠動脈学会 評議員、日本クリニカルバス学会 評議員など歴任。

福岡山王病院 循環器センター長
高木病院 循環器センター長
国際医療福祉大学教授

横井 宏佳 先生



見逃されている低亜鉛血症



疾患に合併する低亜鉛状態



- PART 1 亜鉛不足の症状と高齢者の血清亜鉛濃度
- PART 2 血清亜鉛濃度の基準値
- PART 3 低亜鉛血症とは

亜鉛は生体にとって必須の微量元素であり、300種類以上の酵素活性の中心に位置することから、多くの生命現象に関与しています。そのため、亜鉛不足により生じる症状は非常に多彩です。今回は亜鉛不足による症状から診断基準まで低亜鉛血症を治療するポイントについて解説いただきました。



順天堂大学医学部
総合診療科 主任教授
内藤 俊夫 先生

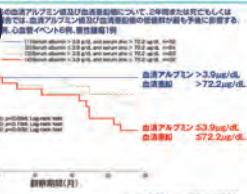
内藤 俊夫 先生のご紹介

●専門分野: 内科一般、ウイルス感染症学など
●ご紹介: 1994年、名古屋大学医学部卒業。1997年より順天堂大学医学部総合診療科に入局。米国ペンシルバニア大学神経ウイルス学・癌生物学センター、メイヨークリニック感染症科に留学。順天堂医院にプライマリケア外来を開設するなど、総合診療・感染症の臨床・教育・研究を行っている。2015年から現職。日本病院総合診療医学会理事、日本感染症学会認定感染症指導医。

末期腎不全患者における心疾患合併症と亜鉛



透析患者の生命予後



- PART 1 透析患者の血管死亡リスクと腎不全特有の非古典的危険因子
- PART 2 透析患者、心不全患者の血清亜鉛値
- PART 3 透析患者の予後に関するアルブミン値と血清亜鉛値

日本透析医学会の「血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン」の動脈硬化について見ると、従来からの古典的危険因子に加え、腎不全特有の「非古典的危険因子(貧血、炎症、低栄養など)」も考慮すべきとあります。必須微量元素である亜鉛が多量の酵素の活性やタンパク合成に深く関わっていることが徐々に明らかになる中、様々な疾患の動脈硬化や予後にも関与することを示唆する報告など、新たな亜鉛補充療法の可能性について解説いただきました。



東邦大学医療センター大橋病院
腎臓内科 教授
常喜 信彦 先生

常喜 信彦 先生のご紹介

●専門分野: 腎臓内科学
●東邦大学医学部1990年卒業。2010年より現職。日本透析医学会学術委員会ガイドライン作成小委員会、血液透析患者における心血管合併症の評価と治療に関するガイドライン「委員(2007-2012)、日本腎臓学会 腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン改訂協力委員(2017~)、日本透析医学会学術委員など歴任。

注目動画 1

注目動画 2